

## 『用水と廃水』投稿規程

1. 原稿内容は、水処理技術および環境問題に係る研究論文ならびに技術論文とし、本誌に掲載する前に他の出版物に発表されていないもの、また発表する予定のないものに限ります。なお、学会・シンポジウムなどでの発表については、必ずしも上記にはこだわりません。
2. 投稿御希望の方は、氏名、連絡先住所・E-mailアドレス、勤務先、職名、論文の題目、投稿予定日などを、あらかじめ編集室宛てに御連絡下さい。所定の送付票等をお送りします。
3. 原稿は清書したもの1部とコピー1部の計2部を郵送等にて提出して下さい。
4. 原稿には、必要事項を記入した本誌所定の送付票を添付して下さい。
5. 原稿区分は、下記に示す6区分を原則とし、いずれにも当てはまらないものは、その他として下さい。ただし編集委員会により、とくに認められたものに関しては、必ずしもこの限りではありません。
  - 総説：ある特定のテーマに関して、既発表の業績・事実を総括・集成的なもの
  - 報文：自己の研究発表を中心とし、有意義な新技術や新事実についての報告で、考察等を含め独創性に富むもの
  - 技術報告：自己の研究発表を中心とした技術的なレポート、あるいは調査報告
  - 解説：主として新しい法令、予算、政策、考え方などについて説明するもの
  - 技術解説：主として新しい技術等について説明するもの
  - 資料：技術的なレポート、調査報告などではあるが、事実内容を告知するにとどまるもの
  - その他：たとえば、外国文献の紹介や討議・オピニオンのものなど
6. 原稿は、編集委員会が決定する複数の専門家により査読が行なわれます。編集委員会は、査読結果に基づき原稿の採否を審議し、掲載が決定すれば掲載巻号を通知します。なお、原稿タイトル・原稿区分・内容等について、編集委員会の規程に則り変更・修正をお願いする場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。また、内容によりましては「査読対象論文」から外させていただく場合もございます。
7. 編集委員会が原稿を受領した日を当該原稿の受理日とします。総説・報文・技術報告として掲載が決定した原稿は、原則として受理日の順に掲載しますが、他の区分の原稿については前後することがあります。
8. 掲載が決定した原稿は、可能な限りフロッピーディスク・光学ディスク等、もしくはE-mailによりデータの提供をお願いします。その際、本文と図、表、要旨は個別のファイルに分けて下さい(図表等のデータ提供が困難な場合は本文・要旨のみでも結構です)。
9. データは、編集委員会の指摘に基づき修正がなされ、原稿受理が決定した最終原稿のプリントアウトとともに送付して下さい。本文・要旨を「WORD」,「一太郎」以外のソフトで作成された場合には、念のためテキストファイル形式の原稿ファイルも併せてお願いします。
10. 特定の製品等の宣伝、紹介となる内容は固くお断りします。
11. 掲載した原稿の著作権はすべて(株)産業用水調査会に帰属します。
12. 掲載した原稿には、追って本誌規程の原稿料をお支払いします。

### ■問合わせ先および原稿提出先

(株)産業用水調査会『用水と廃水』編集室

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-20-11 第一シルバービル

☎03(3354)0150 FAX03(3354)0096 E-mail: [henshu@youhaisui.com](mailto:henshu@youhaisui.com)

## 原稿執筆要項

1. 原稿の表題は、検索上の便宜を考慮し、内容に即したキーワードとなる語を含み、**30字以内**として下さい。その際「～について」、「～に関する研究」などの語で終わらないよう御考慮をお願いします。
2. 原稿のプリントアウトは、特段行数等を定めませんが、読みやすいフォントの大きさ・計算しやすい字数/行数にてお願いいたします。
3. 原稿枚数は原則として雑誌印刷時で**6頁程度(10,000字程度：写真，図，表を含む)**とし、写真，図，表は必要以上に多くならないようお願いします。大幅超過の場合、制作費を申し受ける場合があります。
4. 原稿は常用漢字を用い、新かなづかいで「～である調」で御執筆下さい。数字はアラビア数字、単位表記は基本として**SI単位**を用い、句読点(。)(、)は1字となります。

[見出し例]

### 1. バルキング現象と発生原因

#### 1.1 バルキング汚泥にみられる微生物

##### (1) 微生物の種類

##### 1) 糸状菌

:

の順となります。なお、本文中の箇条書きは①，②で示して下さい。

5. 本文中、テクニカルターム等で頻出する単語については、表記に「ゆらぎ」がでないよう、ワープロソフトの校正・検索機能等による十分な推敲をお願いします。
6. 写真，図，表は必ず番号と表題(和文)を明記し、本文中に挿入個所を指定して下さい。パソコン等で図を作成する際には、高品質のプリンタを用いて出力して下さい。また、図を手書きで作成する際には、図中の説明文を記入したものと、なにも記入していないものを御用意下さい。  
また、図表中の文字表記は、物質名等で和訳が不可能なものを除き、和文でお願いします。  
なお、カラー写真やカラーデータを使用しても、原則として白黒印刷となります。カラー刷りにて原稿作成の際には、白黒印刷をしても掲載に耐え得るかどうかの御確認をお願いします。
7. 参考文献，引用文献は出典を明らかにし、本文中右肩に 1) のように上付きで表示して下さい(文献欄の記載例は下記を参照下さい)。

[和文雑誌例]

- 1) 稲森悠平，須藤隆一：嫌気性処理の最近の動向，用水と廃水，**24(3)41～50(1982)**。

[英文雑誌例]

- 2) **Smith, P. H., Mah, R. A. : Kinetics of acetate metaboslism during sludge digestion, Applied and Environmental Microbiology, 14(3)368～374(1996)**。

[和文単行本例]

- 3) 大野 茂：し尿浄化槽ハンドブック，p.260，産業用水調査会，東京(1980)。

[英文単行本例]

- 4) **Stallonkd, D. A., Hotton, R. : Methane Production from Waste Organic Matter, CRC press Inc. , Boca Raton, Florida(1980)**。

\* 英文雑誌名および単行本名は必ずイタリック指定して下さい。

\* 文献番号順序は、本文中の引用順序と合わせて下さい(あいうえお順・アルファベット順等にしない)。

8. 雑誌刊行までに筆者校正を行ないますので、その際には指定期日までの御返送をお願いします。原稿掲載頁の別刷り印刷については、その際に申し受けます。また、本文中の用字表記については本誌規程に従って変更させていただきますので、筆者校正時に御確認下さい。

## 『用水と廃水』送付票

原稿内訳： 要旨 枚，本文原稿 枚，表 枚，図 枚，写真 枚

タイトル (和文)

(英文)

執筆者名 (執筆者は最大6名まででお願い致します)

(和文)

(英文)

学位等 (とくに明記御不要でしたら，空欄として下さい)

(和文および英文)

キーワード (おおむね6～7ターム以内として下さい)

(和文のみ)

御所属 (和文)

団体名・学校名等 (各執筆者の御所属が異なる場合にはそれぞれお願いします)

・住所

(英文)

原稿区分 (下記いずれかを御指定下さい)

総説，報文，技術報告，解説，技術解説，資料，外国文献紹介，その他

御連絡先

TEL ( ) FAX ( )

E-mail : @

\* 本票に則った内容のものを原稿に同封下されば，必ずしも本票を御使用になられずとも結構です。